

東 金 城

永正6(1509)年、土気から田間に城を移した酒井定隆は、大永元(1521)年に東金に移城し、隆敏、敏治、敏房、政辰の5代がこの地を治め、現在の東金の町並みなどの原形はこの時代に築られました。東西700メートル、南北約500メートルの規模をもつ、半独立丘陵の山城で、東金酒井氏の本城として、天正18(1590)年まで機能していたことが史料により確実となっています。

①東金城全般

	書名	著者名	出版社	請求記号	出版年	備考
1	山武の城	小高春雄／著	小高春雄	C22.5 サ	2006	P6-15
2	東金城ものがたり	宮本政宏／著	宮本政宏	C22.5 ト	2004	
3	図説房総の城郭	千葉城郭研究会 ／編	国書刊行会	C20.4 ス 213 ス	2002	P162-164
4	日本城郭大系 6		新人物往来社	C521 ニ 6	1980	P163
5	千葉県中近世城跡研究調査報告書 第9集	千葉県文化財セン ター／編	千葉県 教育委員会	C22.5 ト	1989	P1-18
6	房総の古城址めぐり 上	府馬清／著	有峰書店	C20.4 フ	1977	P102-105
7	千葉県の中近世城館 2上総・安房編	千葉県教育委員 会 // 編	戎光祥出版	C521 ㊦ 2	2021	P170-171
8	東金市の城郭	後藤 和民		C22.5 ト	1985	
9	中世城郭研究 第2号(抜粋のコ ピー)		中世城郭研 究会	C22.5 ト	1988	P50-57 東金酒井氏 の居城-東金城につ いて(遠山成一)
10	山武郡の古城址	清水 浦次郎	清水浦次郎 遺稿刊行会	C22.5 シ	1972	
11	とうがね史跡散歩みち	東金青年会議所 ／編	東金 青年会議所	C22.5 ト	1981	

②酒井氏関係

1	東金市史 通史編 上6		東金市役所	213 ト 6 C22.5 ト6	1987	
2	東金史話 酒井五代記	東金市教育委員 会／編	東金市 教育委員会	C 22.5 ト	1959	
3	千葉県の歴史100話	川名登／編著	国書刊行会	213 カ C20.1 カ	2006	P85-87 土気・東金 の戦国武将酒井氏

4	新編房総戦国史	千野原靖方	崙書房出版	C20.4セ	2000	P136-141 土気・東金の酒井氏
5	房総の郷土史(合本)第1号～第3号	川名登／著	千葉県郷土史研究連絡協議会	C20.05チ	1975	第3号P66-73 房総の戦国武将・酒井氏の史実と伝説
6	ふるさとの歴史を尋ねて	松之郷区誌編纂委員会／編集	東金市松之郷区	C22.5ト 213マ	2001	P129-138 東金酒井氏と松之郷

③東金城周辺の伝承・民話

1	日本伝説叢書 上総の巻(復刻版)	藤沢衛彦編著	すばる書房	C388 7 1	1977	P228 土気の酒井殿 P233-234 東金城と八鶴湖
2	東金の昔ばなし	東金市教育委員会／編	日本電信電話株式会社	C 388ト	1989	P120-125 酒井氏にまつわる伝説
3	房総の秘められた話・奇々怪々な話	大衆文学研究会千葉支部／編	崙書房出版	388ホ C388ホ	1983	P46-49 酒井氏が強行した宗教政策「七里法華」
4	千葉県妖怪奇異史談	荒川 法勝／編	暁印書館	388ア C388ア	1997	P166-168 東金城主酒井小太郎異聞
5	千葉県史跡と伝説	荒川 法勝／編	暁印書館	213ア C29.02ア	1990	P114-116 酒井小太郎定隆

※ 請求記号が「C」からはじまる本は、郷土資料室の本になります。郷土資料室は2階にあり、複数所蔵しているもののみ貸出できます。1冊しかない資料も複写はできますので、職員にお気軽におたずねください。